

# 藤の里だより

第四号 平成17年 4月 15日発行



『藤の里だより』 一周年記念によせて

グループホーム『藤の里』  
代表 石原恵子

四月に入り、コブシの花やボケの花、桜と満開が続いています。

自然の移り変わりは規則正しくて、私達人間のいいかげんさや、あいまいさとは無縁で動いています。

『藤の里だより』も一才の誕生日を迎えることが出来ました。これからもずっと続けてゆく所存です。

入居の皆様はお変わりなく、春を迎えておられますが、やはり木の芽どきというように、不穏になったり、御自分のことに悩みをめぐらせたり、されております。

平穩に、この時期をのりこえていただきたいと願って、介護しております。

皆様の御支援もあり、奥の土地にショートステイの建築がはじまりました。職方さんたちの頑張りで、七月一日開所にむけ、どんどん進んでおります。御面会の折にはごらんになって下さい。

藤の里も一年半がすぎ、色々な変化があらわれてきております。職員の入れかわりがあったり、入居の方も若干かわっていますが、当初からの、藤の里のカラーは変わらず継続されて、確立されつつあります。

一年目は、入居の方たちのことを知り、職員の介護レベルを統一してきました。少々きつかった一泊旅行の時に、家族の方々とのコミュニケーションがとれました。

二年目は、介護の個別対応の意味等を知り、お年寄りの喜びにつながる何かを、探っていく年にしてゆきたい、と考えています。

三年目は、介護予防につながる生活リハビリ等を考え、総合的に充実させてゆきたいです。

お互いに支えになりながら、楽しいホームの生活を送っていただけるよう、尽力したいと思っております。



## ヒナ祭り

灯りをつけましょ ボンボリに・・・  
お花をあげましょ 桃の花

甘酒とさくら餅で、お祝いしました



## 防災訓練 2月21日

消防署から消防車の到着を待ち  
避難訓練をしました。

消火器の実施講習を受け、  
その後、防災ビデオを皆で見て  
地震対策などの、勉強をしました。



## 観 梅

良いお日とで楽しく散歩しました。

梅の香りと良い空気に大満足！！



## 空手慰問



渡辺門下の子供たちで、  
型や、居合をみせて  
くれました。  
かわいくて、カッコ良かった



## 趣味の文化刺繍



近野様の力作です。  
干支の酉は、玄関に  
飾らせていただきました。  
次々と作品が出来上がっています。



## 花見 桜



玉敷公園にお花見に行きました。  
満開の桜・桜・桜  
去年のことを覚えていて  
『ここに藤を見に来たね』  
と、話されていました。



# 家族会便り

『母、清水愛子を語る』

梓澤和代

母は、埼玉県騎西町に祖父母、父母、使用人のいる精米所を営む商家の8人兄弟の長女として、大正10年酉年に生まれ誕生日が来ると満84歳になる。

昭和18年に結婚2男1女をもうけ、父の会社のあった東京都千代田区で子育てをし、千葉県船橋市に新築した家に越して40年暮らしていました。

52歳で父と、69歳のとき弟と死別。その間、私の長男(娘の子)を生まれてから幼稚園卒園までと、大学から母が「藤の里」に入所するまで同居し、食事、洗濯などすべての面倒をみてくれた。

孫が就職し、ご近所の同年輩の方々がお亡くなりになったりして、家に一人で居ることが多くなり会話をするのが少なくなって、軽い脳梗塞を患ったところから痴呆症状が始まった。

昨年、夜中につまづいてかかとを骨折、歩けるので捻挫かと思っていたら、手術し金具を入れて固定した方がよいと言われ入院、何故入院しているのか判らない状態をみて、一人で置いて置けないと思い私の家に近く新築したばかりの「藤の里」に入所させていただいた次第です。

バックをしょって「家に帰ります」と大真面目に言って、職員の方を困らせているようですが、「家に居ると一人だけど、ここに居るとみんなが居てくれるし、上げ膳据え膳だから一番いい」と言ってくれる。

母にとって、いつまでも居場所の良い場所であって欲しい。



《13年前》



《現在》

職員より:笑顔がとってもお似合いです。くす玉作りが得意で、B棟の天井に下げて飾っています。又、訪問された方にさし上げたりして、喜ばれています。おしぼりを作ったり、食器を拭く手伝いをして下さり、頑張っていっしょいます。

『父、安田 久之を語る』

藤山圭子

今年、年男酉年、奈良県生駒市生まれの関西男です。

盛岡高等農林学校(現 岩手大学)卒業後、獣医として軍隊へ。馬のような大動物は良いのですが、ネコ、犬のような小動物は苦手な姿を見ると、どうも解りません。

馬とは相性があつたらしく大好きなようです。

天覧試合で優勝したのが自慢話のひとつで、サラリーマンになり馬と離れていて乗馬姿は一度も見た事のない家族には証拠写真だけでした。体で覚えた事は忘れないといいますが、50年近く乗っていなかった馬に落馬せず、安定感をもって乗っていた姿は、ちょっと感動ものでした。



職員より:テレビなどで馬が出てくると、目を輝かせて馬のことを話してくださいます。字を書くのに夢中になったり、ゲームをしたり、頑張る姿がみられます。

## 17年度行事予定

4月	桜お花見	バザー	新聞発行
5月	藤見	菖蒲見学	端午の節句
6月	ラベンダー	バラ見学	
7月	小旅行(検討中)	七夕飾り	新聞発行
8月	夏祭り	風鈴作り(うちわ)	うどん・そば打ち
9月	コスモス見学		防災訓練
10月	小運動会	月見団子作り	新聞発行
11月	紅葉狩り	芋煮会	舞踊
12月	クリスマス	忘年会	餅つき
1月	初詣	七草粥・鏡開き	新聞発行
2月	節分・豆まき	観梅	
3月	ひな祭り	もも見学	防災訓練

※食事会を計画しています。

毎月、少人数にて外食(昼食)に行きます。御家族参加、大歓迎です

※毎月、第三土曜日に、月例誕生会を行っております

## ケアマネノート

草木の芽吹く頃は、認知症の方々は落ち着かない日々が続くと申しますが、藤の里の皆様も多少、通常と違った状態にあります。通過点と思い大切に見守り、対応していきたいと思えます。

2005年3月31日現在      平均年齢    83.05歳      平均介護度    2.83度

認知症の第一の法則(最近の出来事を全く忘れてしまう)1月号掲載

認知症の第二の法則(症状の出現強度に関する法則)

痴呆の症状はより身近な人に対して、より強く出る。

いちばん身近な家族の前では最もひどい症状がでますが、よその人に対しては、しっかりした対応をするのが認知症の特徴です。

対応のヒントとしては、

いちばん信頼している家族だから、安心してひどい状態がでている。よその人には体裁を整えているだけであることを理解しましょう。

私達も、家の中での言動とよその人の前での言動とを使い分けています。考えてみれば程度の差こそあれ、痴呆の高齢者と同じようなことを日常やっているのです。

脳を若く元気にたもつ暮らし方！

### 1. 愛すること

家族の中で役割を持ってもらう(食事を作ってあげたり、身の回りの世話をやいたり、とかくお年寄りには優しく接しがちです。実は逆効果。戸締りなど軽い仕事を分担してもらい、自分のことは自分ですることが励みになります)

### 2. 遊ぶこと

好きで熱中できることを探しましょう(好きこそ元気の素です。得意だった趣味をもう一度、はじめてもらうのもいいでしょう。昔の話も聞いてあげることも、脳を使うので刺激があります。散歩など、家族と一緒に・・・軽い励みになります)

### 3. 食べること

食べることが脳を活性化する(青魚と緑黄野菜をたっぷり食べましょう)

### ひとこま②

時々化粧する方がおります「とてもきれいですね」と声かけると、「あ～らそうですか」「化粧もしてないのに」と答えが返ってきます。

その後、鏡をみて髪の毛を直したりしながらほほえんでいる、そんな光景をみると微笑ましくこちらも嬉しくなります。

K. U

### ショートステイ建築工事模様



福田建設コーポレーション

平成17年4月10日現在

# 元気ですか、花粉症？

こんなことに気をつけてみませんか？

長生きの方法、秘訣とは!!

- ◇ 自分で決めたことは、最後までやる
- ◇ 他人のことはあまり気にしない
- ◇ おしゃれ心がある(女性は化粧をする)
- ◇ 意外と神経質で健康や病気について注意している
- ◇ 今の自分に自信を持っている
- ◇ 絶えずやる気を持っている
- ◇ 何か仕事を持っている
- ◇ よく笑い、陽気な性格
- ◇ 人や物事に感謝の気持ちを持っている
- ◇ 食事の塩分を控えめにする
- ◇ 絶えず歩くようにしている

 笑う とがんの予防にもなるといわれています

笑うと体内に病原体や異物質を攻撃するNK細胞が増えます。  
異物質と認定し、攻撃をしてやっつけるからです。

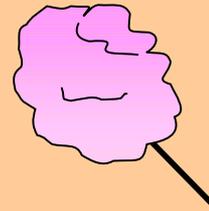
M. A

## 『藤の里 第一回 バザー』

雨天にかかわらず決行

来る 4月23日(土) 藤の里にて  
時間10:00~15:00

- ・わたあめ \_\_\_\_\_ 無料
- ・焼きそば \_\_\_\_\_ 100円
- ・リサイクル品
- ・お花の直売
- ・手づくり品の販売 \_\_\_\_\_ ビーズ  
革製品  
その他
- ・家族会の提供品 家庭用品・手作り品 諸々



15:00~片付け後、家族会総会を行います

- ・前年度の報告
- ・役員の変更等

多くのご家族の参加をお願い致します。不参加の方は、委任状をお願い致します。

### 『編集後記』

さて、今回この広報(藤の里だより)が発行されてから一年が過ぎました。  
私にとっては、長かった一年でしたが、皆様はいかがでしたか?  
今年は、紙面の内容、レイアウト、写真など、工夫していきたいと思っています。  
又、お読みになった感想、アイデアなどございましたら、お聞かせ下さい。

編集発行人

北埼玉郡騎西町鴻莖2168-2  
有限会社 フクシ  
グループホーム藤の里

TEL 0480-73-2943

担当: ケアマネージャー 石原・上森  
管理者 浅香

ホームページ <http://www.2943.jp>